

避難器具概要表

避難器具の概要								
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()
避難器具の種別								
認定番号等	第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号	
設置場所の状況								
開口部の大きさ	×		×		×		×	
腰高 (cm)								
操作面積 (㎡)								
降下空間の障害	・ 有 ・ 無		・ 有 ・ 無		・ 有 ・ 無		・ 有 ・ 無	
固定位置								
固定方法								
固定部材にかかる 設計荷重 (k N)	k N		k N		k N		k N	
固定部材の許容応力 (k N)	k N		k N		k N		k N	
その他								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

3 避難器具の種別 (個数) 欄は、「は」は避難はしご、「す」はすべり台、「ロ」は避難ロープ、「棒」はすべり棒、「橋」は避難橋、「タ」は避難タラップを表し、避難器具の種別の後の () 内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。